

地に堕ちた日本の政治・行政の再生策

政治経済アナリスト
古賀 茂明こが しげ あき

- * 覆い隠せない日本の凋落
- * 自民党が犯した5つの大罪
- * ハイテク製品でもシェア低下続く
- * TSMC誘致に補助金4000億円
- * 世界のEV化に遅れた自動車産業
- * 低い英語力も問題
- * 成長は不可欠
- * 日本の産業政策は時代遅れ
- * 今、求められる政治志向は何か
- * いかに優秀な官僚を採用するか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、初めてご登壇いただきますが、古賀茂明さんにおいていただきました。古賀さんは1955年のお生まれで、東大法学部から通産省に入省され、その後、退官後に大阪府市統合本部の顧問などをされた後、現在、自分の事務所をお持ちで活躍されておられます。

官僚機構についてはもちろんたいへん詳しい方でございますし、それから、現在の行政、政治のあり方についてたいへん危機感をお持ちでいらつしやいます。日本がどういうふうにか、これから変わっていくか、あるいはいけないのか、今日は示唆に富んだお話が伺えるかと思えます。それでは古賀さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

覆い隠せない日本の凋落

古賀 今ご紹介いただきました古賀でございます。よろしく申し上げます。

今日は、「地に堕ちた日本の政治・行政の再生策」というテーマでお話をしたいと思っております。資料を本当はいっぱいいろいろなグラフとか何か、持ってきたほうがいいかなと思つたのですが、持ってきたほうがいいかなと思つたのですが、空で聞いていただきながら理解していただくといいかと思えます。資料はほんの少しだけ用意させていただきます。

これからお話しすることは、一つは、世界から見て今、日本がどうなっているかという話。